

**令和元年度  
J-STAGE利用者満足度調査  
(発行機関向け)**

# ■ 目次

## 【調査概要】

## 【詳細】

- J-STAGE 情報発信への役立ち度
- 情報発信に役立っている理由
- 情報発信に役立っていない理由
- 国際的な情報発信力強化への役立ち度
- 国際的な情報発信力強化に役立っている理由
- 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由
- 情報発信に特に役立っている機能
- 連携により自誌閲覧数増加が考えられるサービス
- 全文XML 利用状況・移行予定
- 全文XML形式への移行を考えていない理由
- 全文XML作成ツール 利用意向・対応ファイル形式
- エンバーゴ・認証設定有無
- エンバーゴ設定期間
- 認証設定期間
- エンバーゴ・認証設定理由
- エンバーゴ・認証設定 今後の方針
- 二次利用取扱い方法の明記有無
- プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況
- 研究データの取扱い規程有無
- データリポジトリ 利用意向
- 役に立ちそうなサービス

## ■ 調査概要

### 調査目的

J-STAGEについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

### 対象者条件

J-STAGEで資料を公開している機関

### サンプル数

507誌

### 調査手法

インターネット調査

### 調査期間

2020年1月9日（木）～2月7日（金）



**詳細**

---

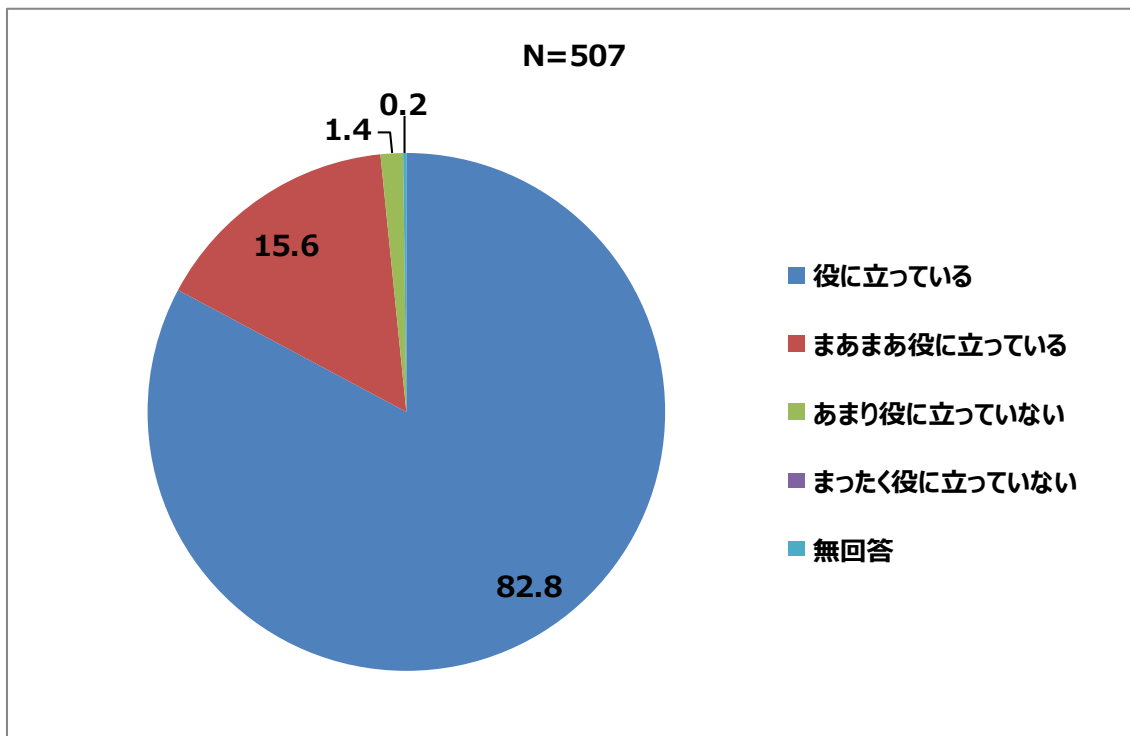
## ■ J-STAGE 情報発信への役立ち度

問3. J-STAGEは貴誌の情報発信に役立っていると思いますか。（1つ選択）

- J-STAGEの役立ち度は、「役立っている」が82.8%と最も高かった。「まあまあ役立っている」を含めたポジティブな回答は、98.4%を占め、大多数が満足した様子が伺える。

単位：%

役に立っている 計	98.4
役に立っていない 計	1.4



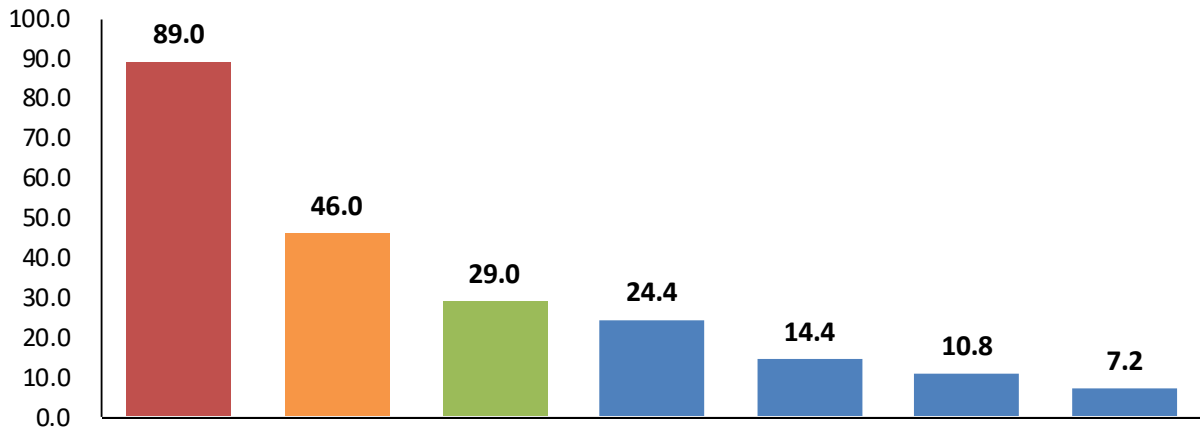
# 情報発信に役立っている理由

問4. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていると考える理由は何ですか。（複数選択可）

- 役立っていると考えている理由は、「電子データを公開できる」が89.0%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の46.0%、「J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した」の29.0%の順に続いている。

「役に立っている」「まあまあ役に立っている」回答者

N=500



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	電子データを公開できる	DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる	J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した	早期公開ができる	公開できる電子データ提供を	J-STAGE掲載開始から増加した	その他	
全体	500	89.0	46.0	29.0	24.4	14.4	10.8	7.2

※全体値を降順に並び替え

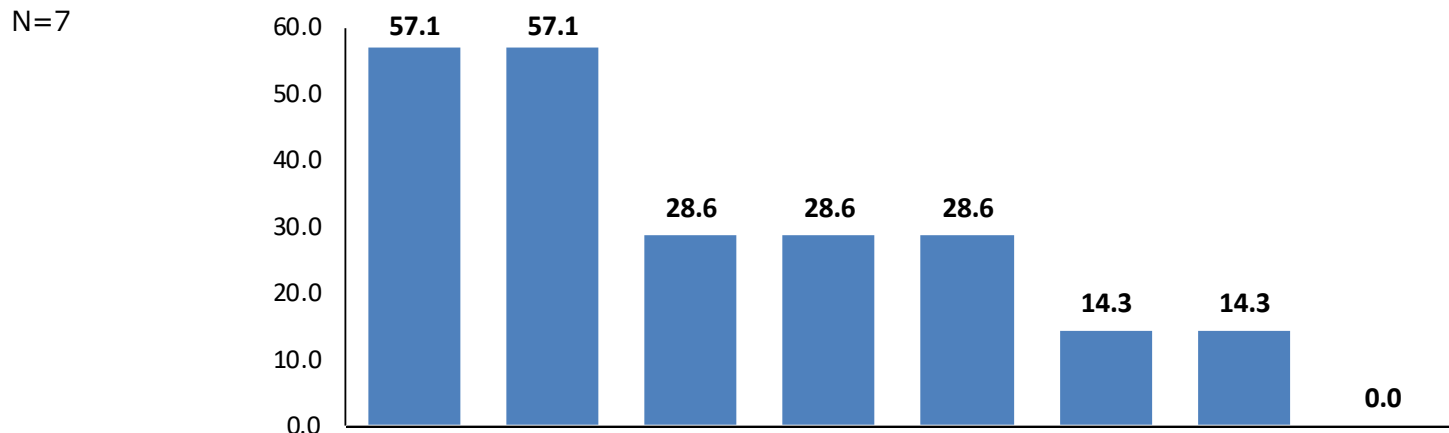
※単位：%

# 情報発信に役立っていない理由

問5. J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）

- 役立っていないと考える理由は、「発行機関内でJ-STAGE公開を運用する体制が確立していない」と「投稿数に変化が見られない」が57.1%（4件）と最も高かった。

「あまり役に立っていない」「まったく役に立っていない」回答者



N	運用している体制が確立していない	発行機関内でJ-STAGE公開を運用する体制が確立していない	投稿数に変化が見られない	（ ） 公開作業が複数	（ ） 必要な設定がない	（ ） 必要な設定がない	（ ） 必要な設定がない	（ ） 確認設定が複数	（ ） 確認設定が複数	その他
全体	7	57.1	57.1	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0

※n=30未満の為参考値扱い

※全体値を降順に並び替え  
※単位：%

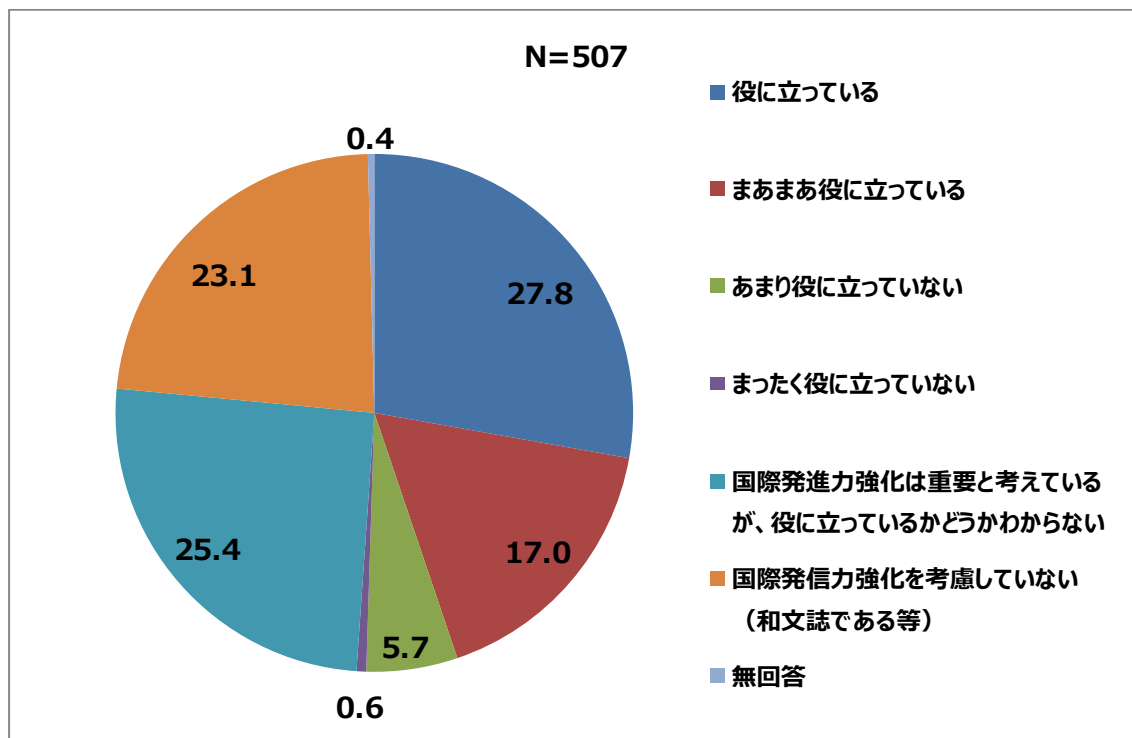
## ■ 国際的な情報発信力強化への役立ち度

問6. J-STAGEは貴誌の国際的な情報発信力の強化に役立っていると思いますか。（1つ選択）

- 国際的な情報発信力強化への役立ち度は、「役に立っている」が27.8%と最も高く、「まあまあ役に立っている」を含めたポジティブな回答は44.8%であった。

単位：%

役に立っている 計	44.8
役に立っていない 計	6.3



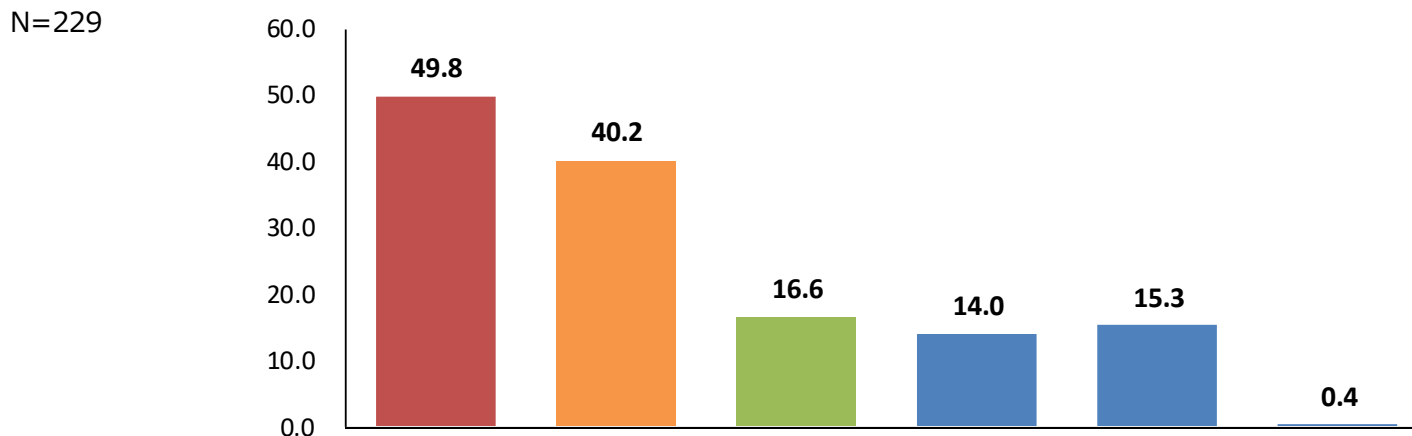


# 国際的な情報発信力強化に役立っている理由

問7. J-STAGEが貴誌の国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は何ですか。（複数選択可）

- 国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は、「海外からの閲覧数・引用数が増加した」が49.8%と最も高く、次いで「検索エンジンや海外の情報サービスからアクセスされるようになった」の40.2%、「海外からの投稿数が増加した」の16.6%の順に続いている。

「役に立っている」「まあまあ役に立っている」回答者



N	加数海 し・外 た引か 用ら 数の が 閲 覧	るか外 よらの うから にア情 なク報 ったス たさ れ	検 索 外 情 の エ ン ジ ン や 海	数 海 が 外 増 か 加 ら し の た 投 稿	せ 海 が 外 増 か 加 ら し の た 問 合	そ の 他	無 回 答
全体	229	49.8	40.2	16.6	14.0	15.3	0.4

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

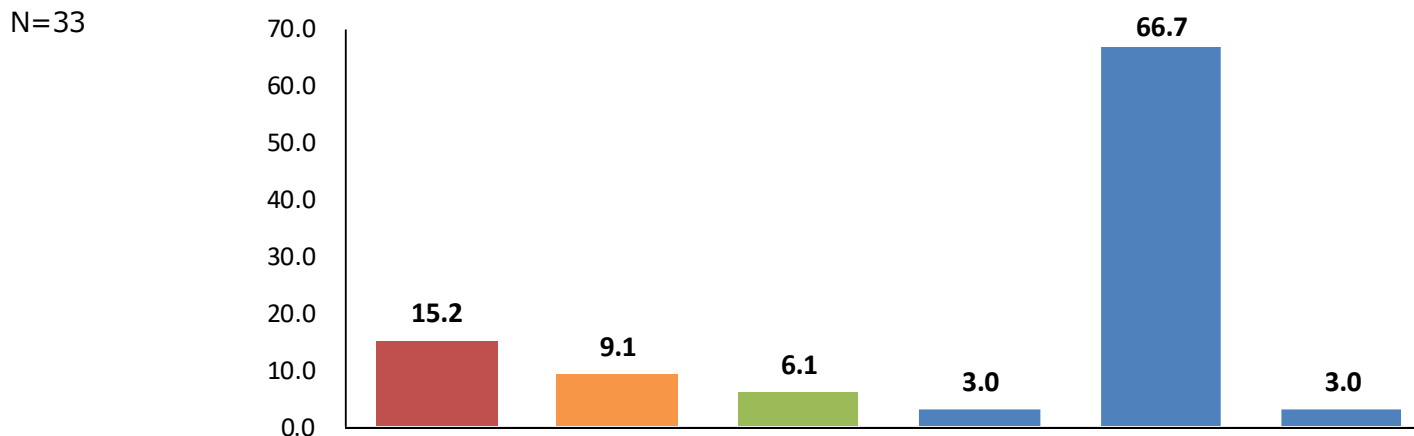
※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由

問8. J-STAGEが貴誌の国際発信力強化に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）

- 国際発信力強化に役立っていないと考える理由は、「J-STAGEの機能・サービスを十分活用できていないため」が15.2%と最も高く、次いで「J-STAGEのサイトデザインが海外向けでないため」の9.1%、「J-STAGEのプロモーション・PRが足りないため」の6.1%の順に続いている。「その他」は、具体的には「和文誌であるため」という回答が多かった。

「あまり役に立っていない」「まったく役に立っていない」回答者



N	きすの J	なの J	なの J	分の J	そ	無	
	てを機 -	いがサ -	い・プ -	なク機 -	の	回	
n=30以上で	い十能 S	た海イ S	た P □ S	た等能 S	他	答	
■ 項目内で1位	な分・T	め外ト T	め R モ T	め) ( T			
■ 項目内で2位	い活サ A	向デ A	が I A	が引 A			
■ 項目内で3位	た用 I G	けザ G	足シ G	不用 G			
	めでビ E	でイ E	りヨ E	十リ E			
全体	33	15.2	9.1	6.1	3.0	66.7	3.0

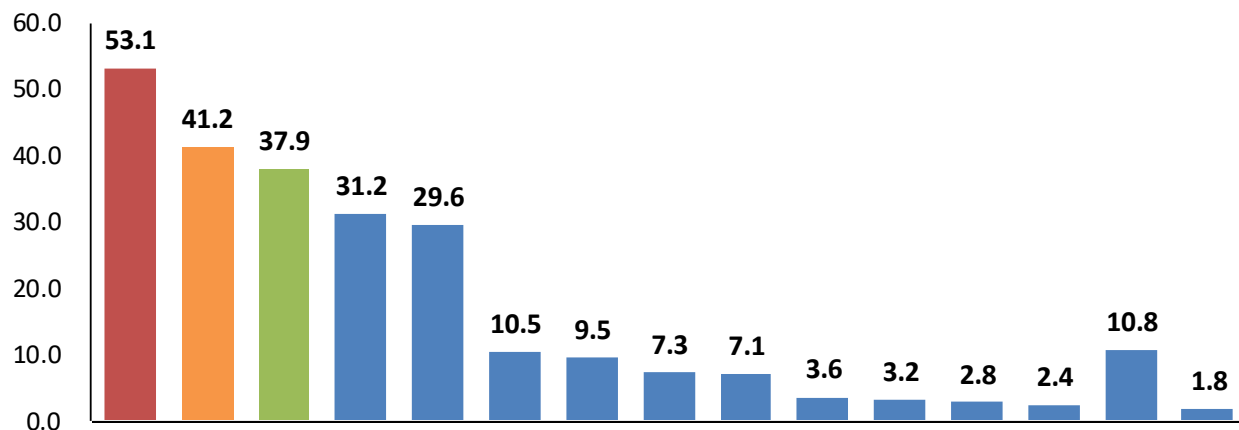
※全体値を降順に並び替え  
※単位：%

# 情報発信に特に役立っている機能

問9. J-STAGEで貴誌の情報発信をする上で、特に役立っていると考える機能を教えてください。（複数選択可）

- J-STAGEで特に役立っている機能は、「引用文献リンク」が53.1%と最も高く、次いで「詳細検索機能（論文記事の検索機能）」の41.2%、「文献情報のダウンロード機能」の37.9%の順に続いている。

N=507



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

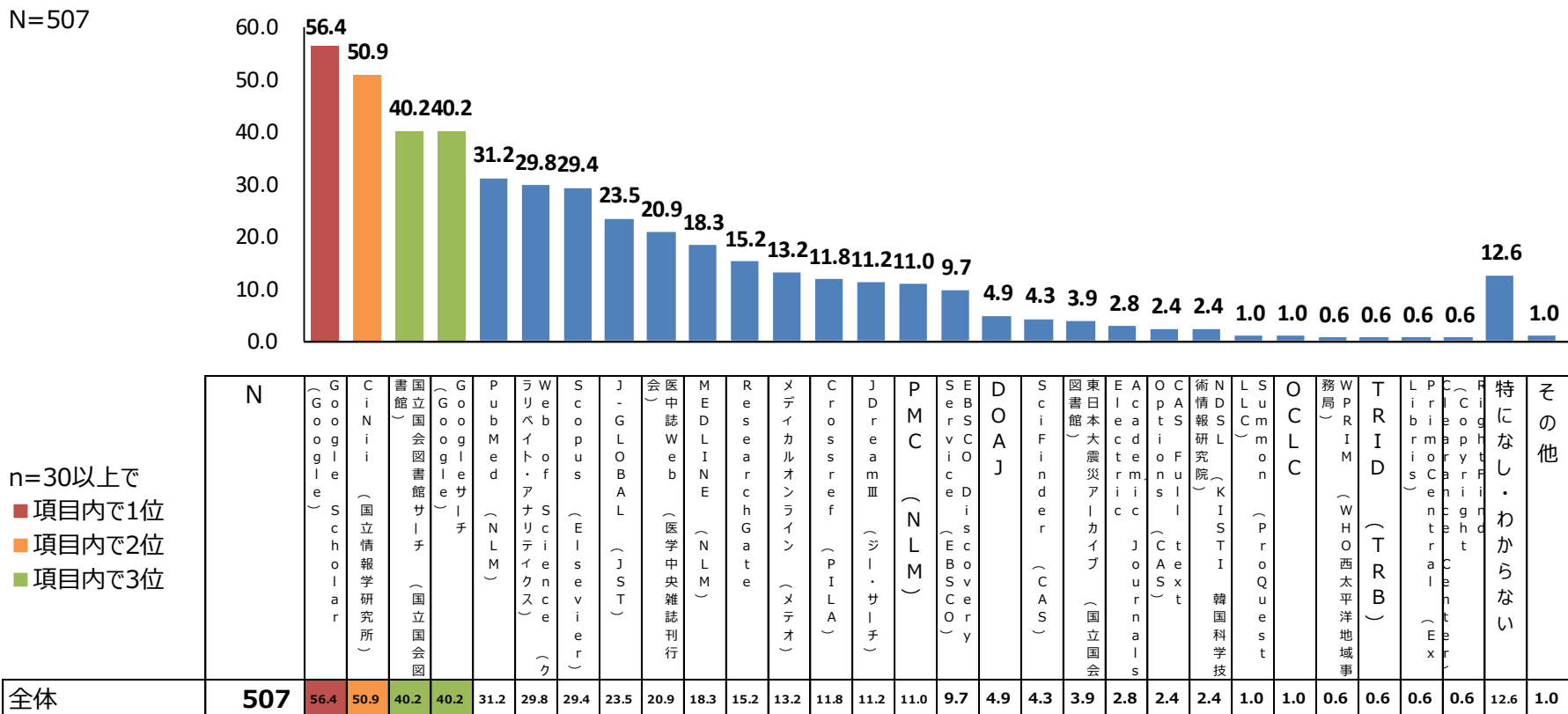
N	引用文献リンク	詳細検索機能（論文記事の検索機能）	文献情報のダウンロード機能	最新号記事表示	アクセスランキング表示	My J-STAGE（アラート機能、ブックマーク機能、閲覧履歴表示等）	閲覧履歴表示	ジャーナル紹介文	おすすめ記事表示	編集委員紹介	SNS連携機能	「Mendeley」との連携	ウェブページ右側に配置、お知らせ等の表示が可能	特になし	その他	
全体	507	53.1	41.2	37.9	31.2	29.6	10.5	9.5	7.3	7.1	3.6	3.2	2.8	2.4	10.8	1.8

※全体値を降順に並び替え  
※単位：%

# 連携により自誌閲覧数増加が考えられるサービス

問10. J-STAGEが連携を強化する（あるいは新規に連携する）ことで、貴誌の閲覧される可能性が高くなると考えられるサービスをお選びください。（複数選択可）

- 連携強化、新規連携により自誌の閲覧される可能性が高くなると考えられるサイトは、「Google Scholar (Google)」が56.4%と最も高く、次いで「CiNii (国立情報学研究所)」の50.9%、「国立国会図書館サーチ (国立国会図書館)」の40.2%の順に続いている。



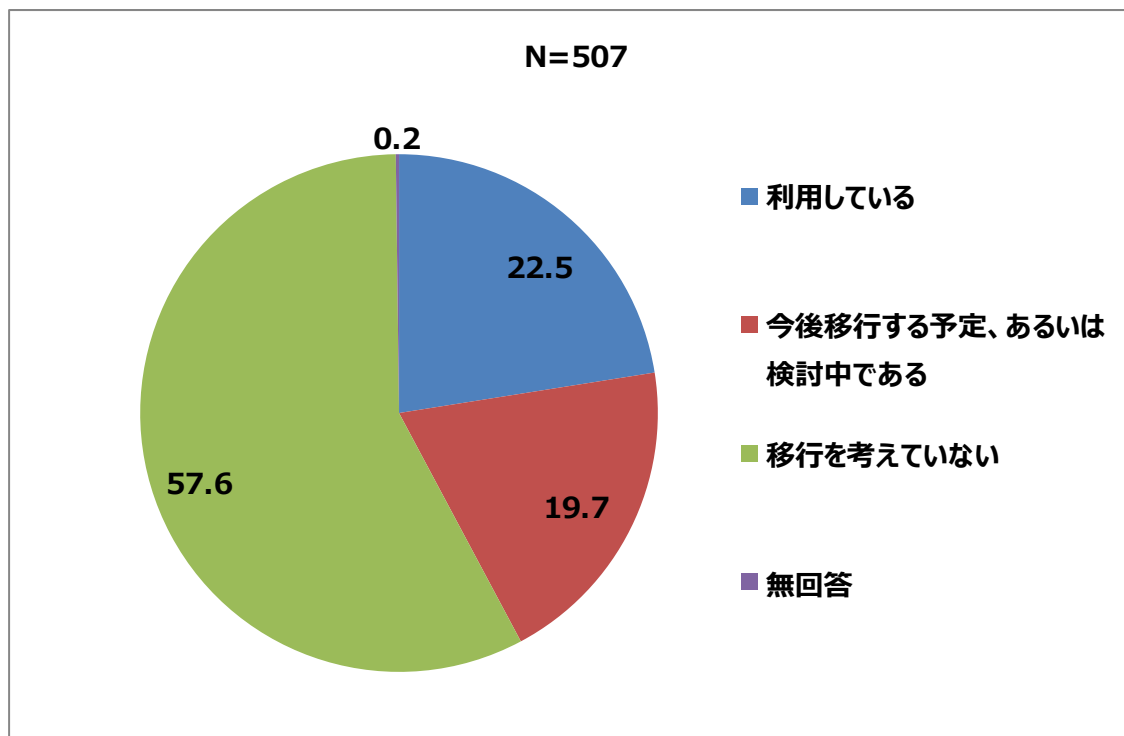
※全体値を降順に並び替え  
 ※単位: %

## ■ 全文XML 利用状況・移行予定

問11. J-STAGEでは掲載誌の発信力を強化するため全文XML化を推進しています。貴誌における全文XMLの利用状況及び移行予定について教えてください。(1つ選択)

- 全文XMLについて、57.6%と半数強が「移行を考えていない」と回答。利用者は22.5%に留まった。

単位：%

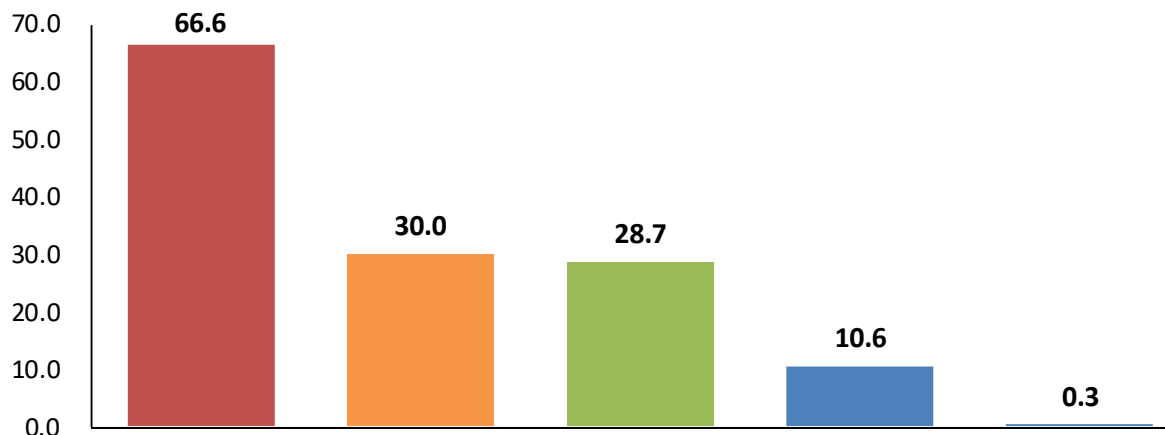


# ■ 全文XML形式への移行を考えていない理由

質問12. 全文XML形式への移行を考えていない理由を教えてください。(複数選択可)

- 全文XML形式への移行を考えていない理由は、「全文はPDF形式の公開で十分と考えている」が66.6%と最も高く、次いで「全文XMLデータを作成するコストが高い」30.0%、「全文XML形式の利点がよくわからない」の28.7%の順に続いている。

「移行を考えていない」回答者  
N=293



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

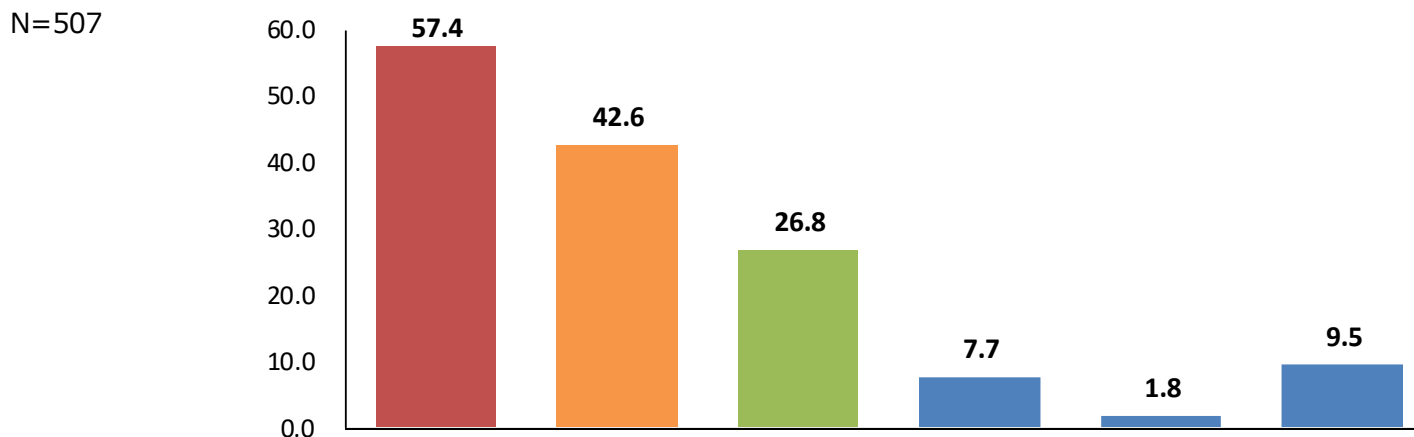
N	全文はPDF形式の公開で十分	全文XMLデータを作成するコストが高い	全文XML形式の利点がよくわからない	その他	無回答	
全体	293	66.6	30.0	28.7	10.6	0.3

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

# ■ 全文XML作成ツール 利用意向・対応ファイル形式

問13. J-STAGEは、Word等の文書ファイルから全文XMLデータの作成を支援するツールの提供を計画しています。この全文XML作成ツールを貴誌でも利用したいと思いませんか。また、どのようなファイル形式に対応しているとよいですか。（複数選択可）

- 全文XMLデータの作成を支援するツールの利用意向、およびその対応ファイル形式は、「PDFに対応した全文XML化支援ツールを利用したい」が57.4%と最も高く、次いで「Wordに対応した全文XML化支援ツールを利用したい」の42.6%、「利用したいと思わない」の26.8%の順に続いている。



N	用支たP	利化しW	わ利	し支しL	いツ文形そ	そ の 他	
	し援全D	用支たo	な用	た援たa	ルMに他		
n=30以上で	たツ文F	し援全r	いし	いツ全T	をL対の		
■ 項目内で1位	い   X に	たツ文d	たい	文e	利化応フ		
■ 項目内で2位	ルM対	い   X に	いと	ルX X	用支しア		
■ 項目内で3位	をL応	ルM対	と思	をMに	し援たイ		
	利化し	をL応		利L対	た全ル		
全体	507	57.4	42.6	26.8	7.7	1.8	9.5

※全体値を降順に並び替え  
※単位：%

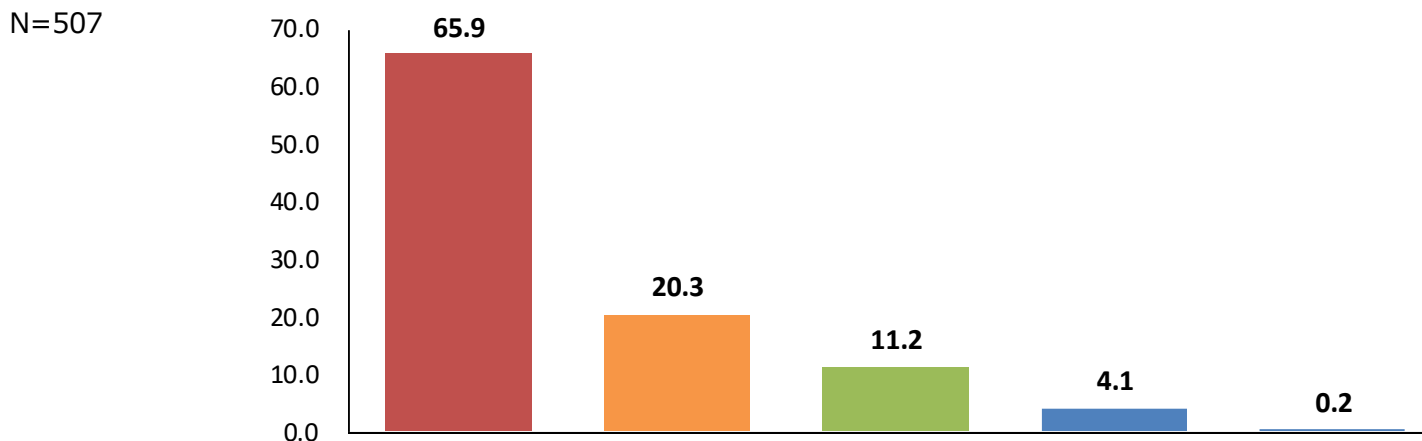
## ■ エンバーゴ・認証設定有無

問14. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

\*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

\*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ・認証設定有無については、「エンバーゴ・認証とも設定していない」が65.9%と最も高かった。「エンバーゴを設定している」は20.3%、「認証を設定している」は11.2%。



	N	エンバーゴ・認証とも設定していない	エンバーゴを設定している	認証を設定している	その他	無回答
全体	507	65.9	20.3	11.2	4.1	0.2

n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%



## ■ エンバーゴ設定期間

問14. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

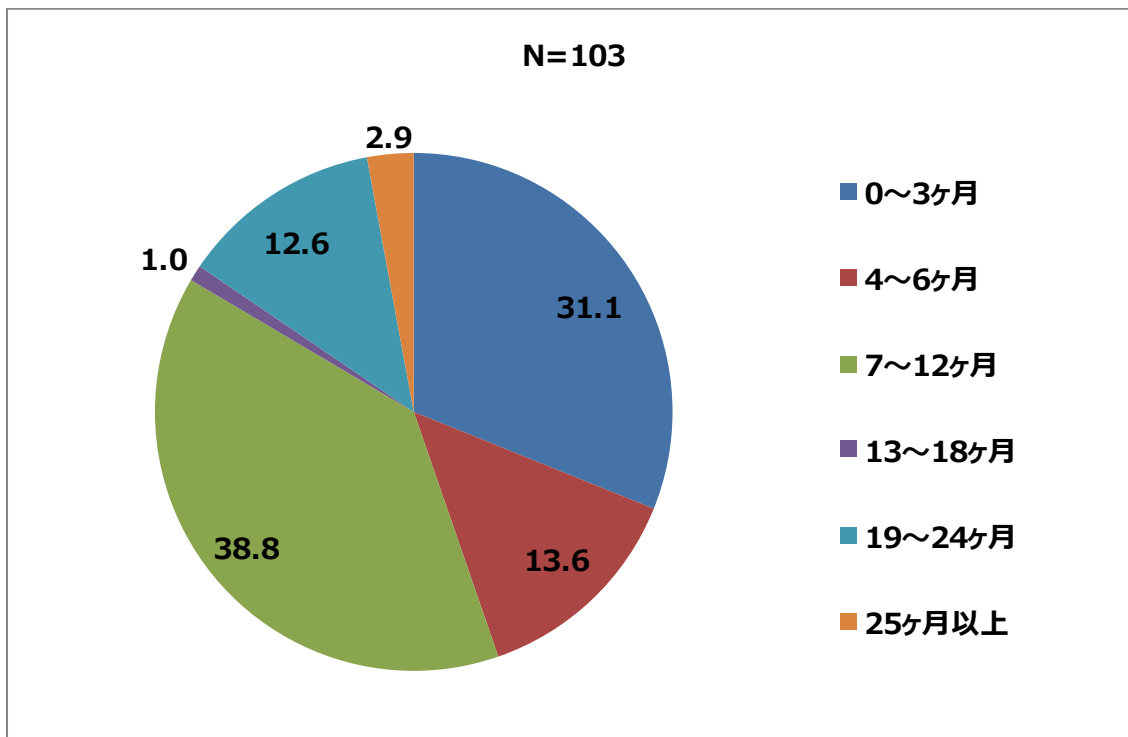
\*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

\*2 J-STAGE登載から認証解除までの期間

- エンバーゴ設定期間は、「7～12ヶ月」が38.8%と最も高く、次いで「0～3ヶ月」の31.1%、「4～6ヶ月」の13.6%の順に続いている。

「エンバーゴを設定している」回答者

単位：%



## ■ 認証設定期間

問14. J-STAGEでは、科学技術刊行物を速やかに、かつオープンアクセスで公開することを推進しています。貴誌では、エンバーゴ\*1あるいは認証\*2を設定していますか。設定している場合、その期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。（複数選択可）

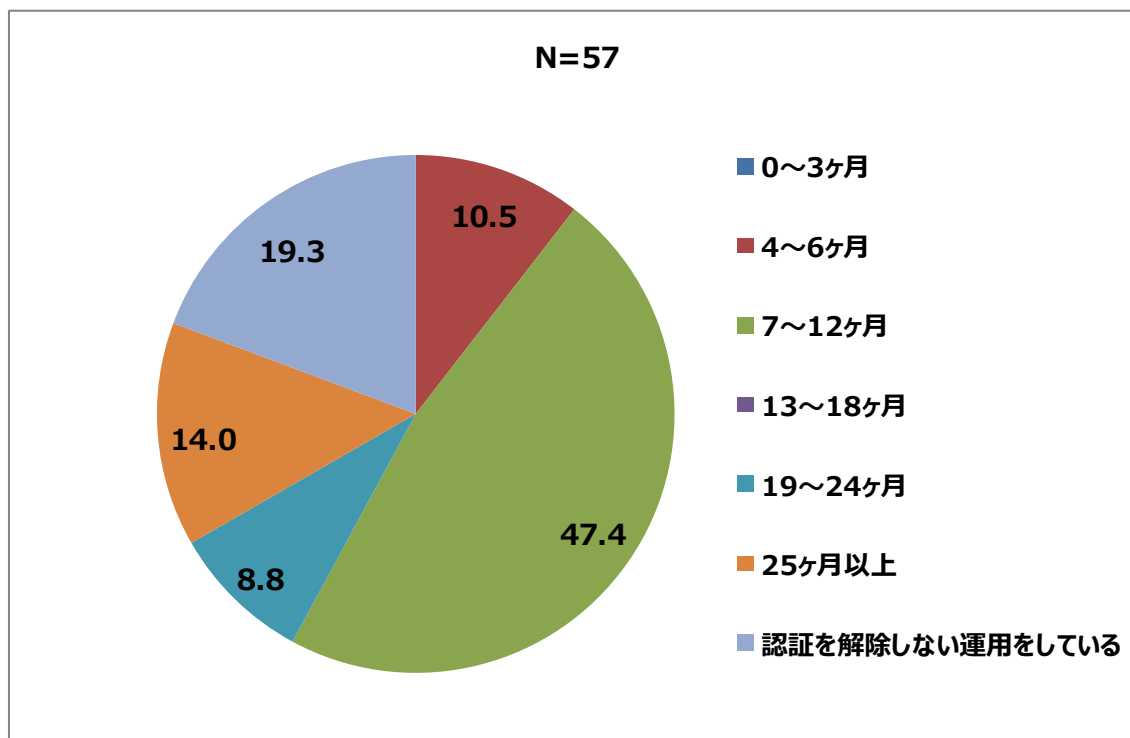
\*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間（本アンケートにおいては、「J-STAGE公開」=「少なくとも書誌情報が閲覧可能な状態」と定義します）

\*2 J-STAGE掲載から認証解除までの期間

- 認証設定期間は、「7～12ヶ月」が47.4%と最も高く、次いで「認証を解除しない運用をしている」の19.3%、「25ヶ月以上」の14.0%の順に続いている。

「認証を設定している」回答者

単位：%



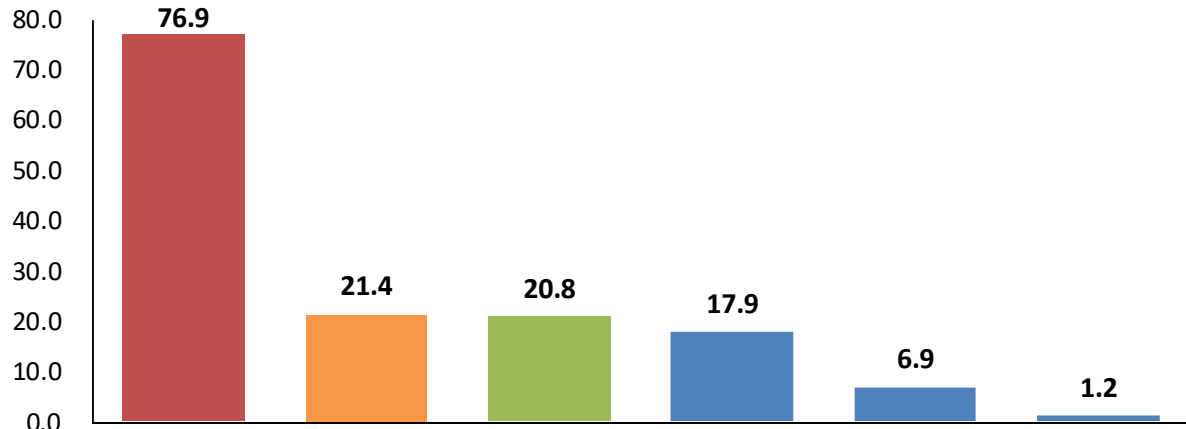
# ■ エンバーゴ・認証設定理由

問15. エンバーゴや認証を設定している理由を教えてください。(複数選択可)

- エンバーゴや認証を設定している理由は、「会員へのメリットのため」が76.9%と最も高く、次いで「冊子、他サイトで有料のため」の21.4%、「公開作業に時間がかかるため」の20.8%の順に続いている。

「エンバーゴ、もしくは認証を設定している」回答者

N=173



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	の会員のため のメリット	有冊子の、 他サイトで	か公開作業に 時間がかかるため	す学会のため 収入を確保	その他	無回答
全体	173	76.9	21.4	20.8	17.9	6.9	1.2

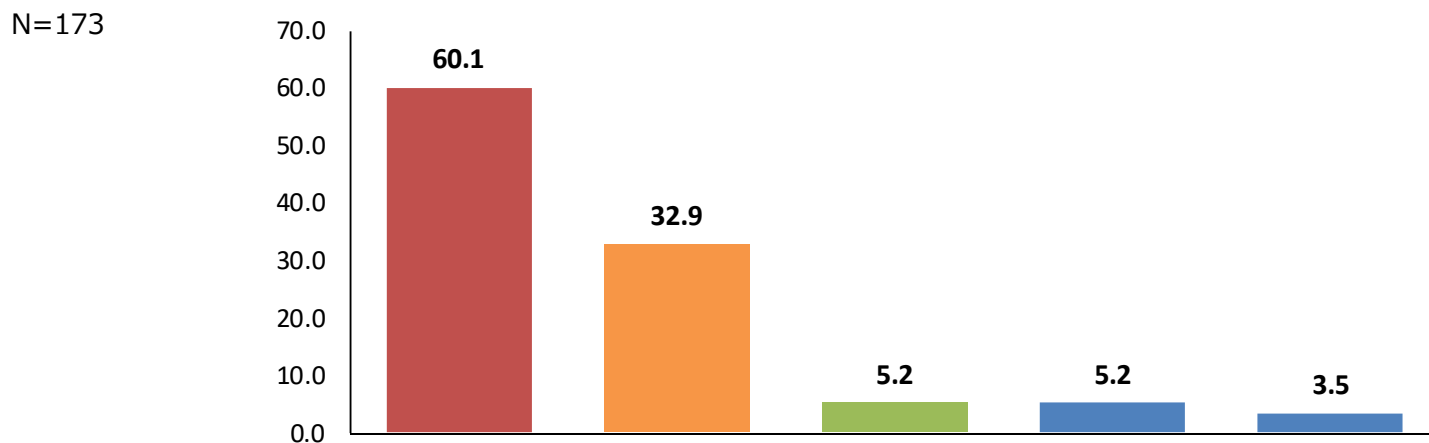
※全体値を降順に並び替え  
※単位：%

# ■ エンバーゴ・認証設定 今後の方針

問16. エンバーゴや認証に関する今後の方針を教えてください。（複数選択可）

- エンバーゴや認証に関する今後の方針について、「エンバーゴ：引き続き設定する」が60.1%、「認証：引き続き設定する」が32.9%であった。

「エンバーゴ、もしくは認証を設定している」回答者



n=30以上で  
 ■ 項目内で1位  
 ■ 項目内で2位  
 ■ 項目内で3位

	N	エンバーゴ：引き続き設定する	認証：引き続き設定する	エンバーゴ：検討中	認証：検討中	無回答
全体	173	60.1	32.9	5.2	5.2	3.5

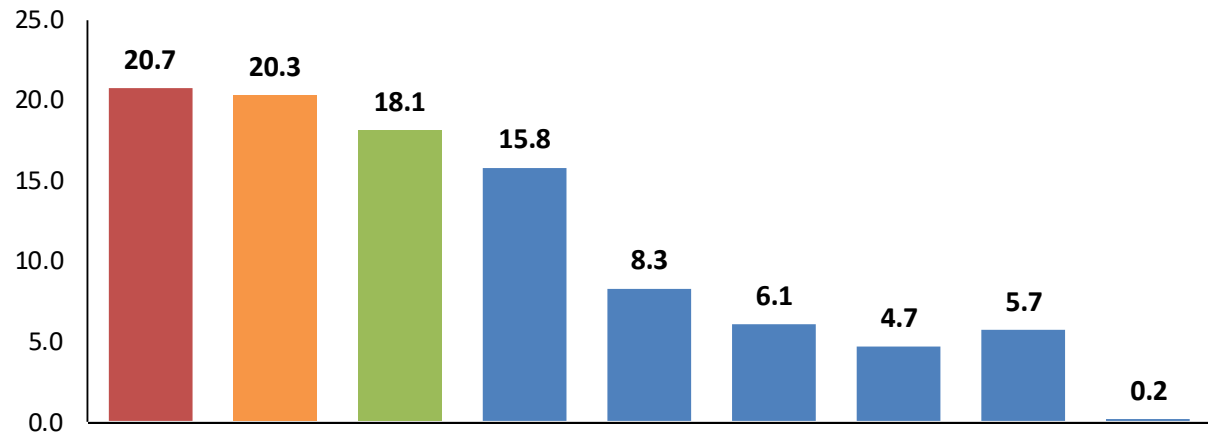
※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

## ■ 二次利用取扱い方法の明記有無

問17. J-STAGEが推進する「オープンアクセス」は、インターネット上に論文等を無料公開し、二次的利用の範囲に関するライセンス情報を明記することで、誰もが障壁なくアクセスできることとしています。貴誌では、記事の二次利用を許可する範囲や条件を定め、投稿規程や論文等に明記していますか。（1つ選択）

- 二次利用取扱い方法の明記有無については、「明記している：著作権管理団体（学術著作権協会等）へ委託」が20.7%と最も高く、次いで「明記している：独自の規定」の20.3%、「今後明記する予定、あるいは検討中である」の18.1%の順に続いている。

N=507



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

N	著作権管理団体（学術著作権協会等）へ委託	独自の規定	今後明記する予定、あるいは検討中である	明記していない	利用している	二次利用に考えている	不明	その他	無回答	
全体	507	20.7	20.3	18.1	15.8	8.3	6.1	4.7	5.7	0.2

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%

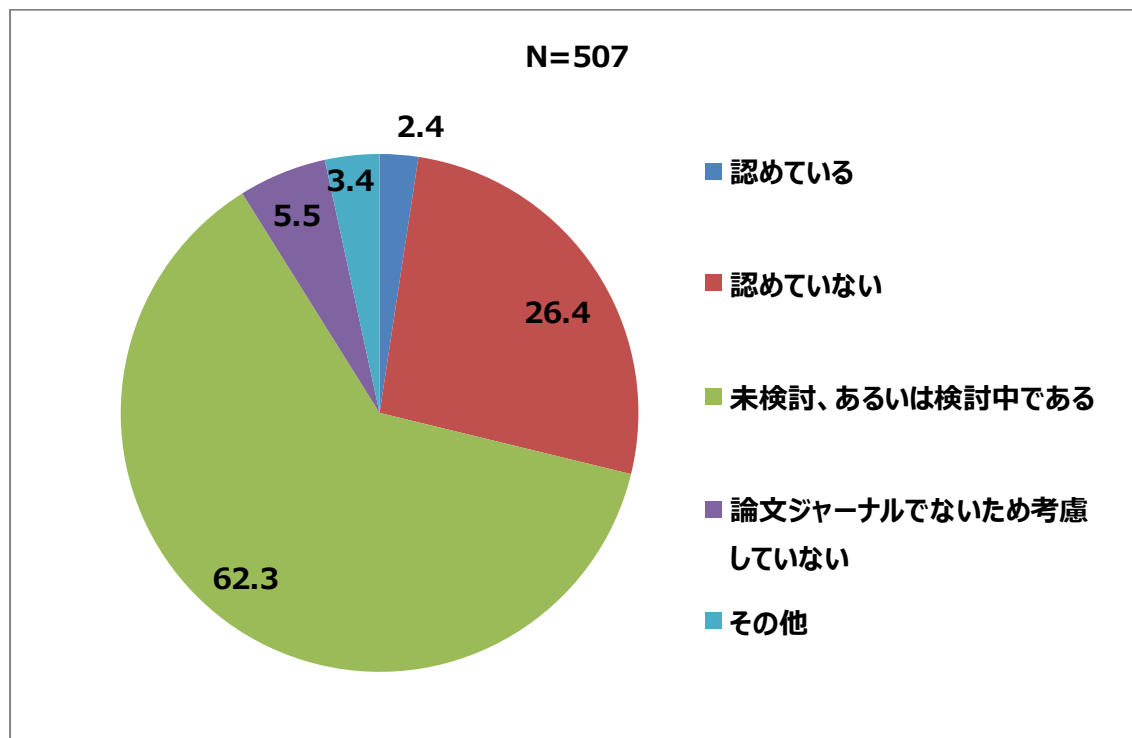
## ■ プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況

問18. J-STAGEではプレプリントサーバ\*の設置を検討しています。貴誌ではプレプリントサーバで公開された原稿の投稿を認めていますか。Webサイト上の投稿規程等で明記している場合は、そのURLをご記入ください。(1つ選択)

\* 学術雑誌で刊行される前に論文記事をアップロード・公開するインターネット上のサーバ

- プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況については、62.3%が「未検討、あるいは検討中である」と回答した。「認めている」との回答は、全体の2.4%であった。

単位：%

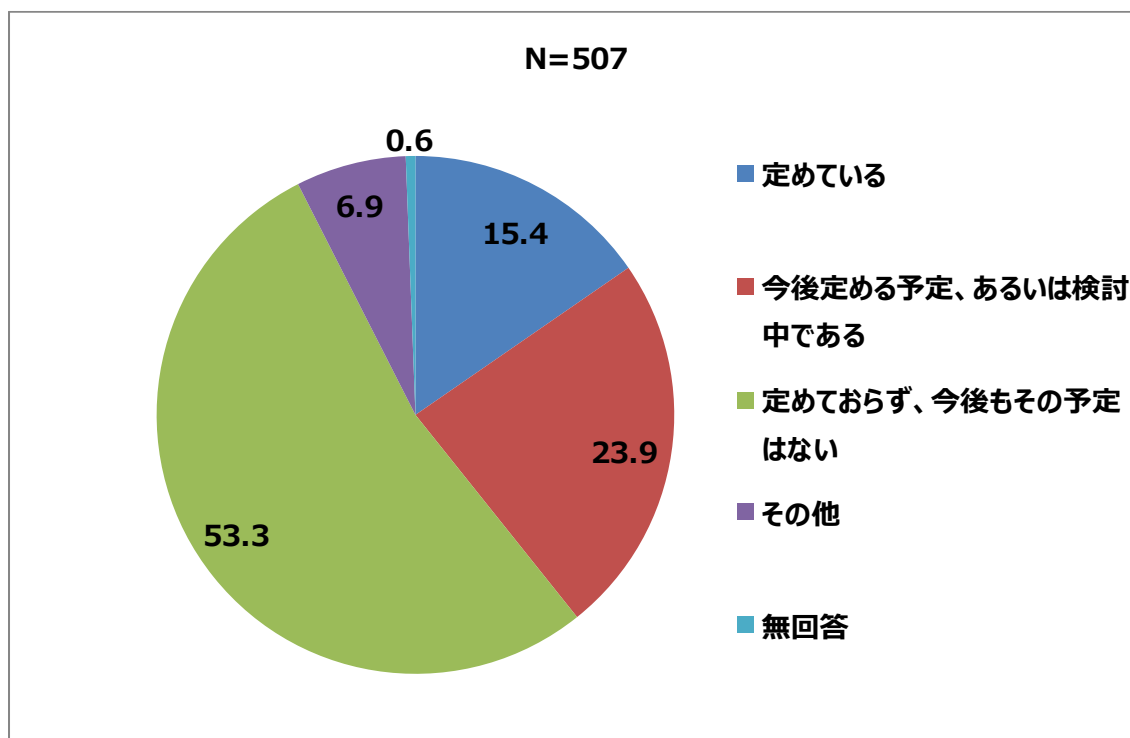


## ■ 研究データの取扱い規程有無

問19. 貴誌では、論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めていますか。規程をWebサイト上に公開している場合は、そのURLをご記入ください。（1つ選択）

- 研究データの取扱い規程については、53.3%が「定めておらず、今後もその予定はない」と回答。「定めている」との回答は、全体の15.4%であった。

単位：%

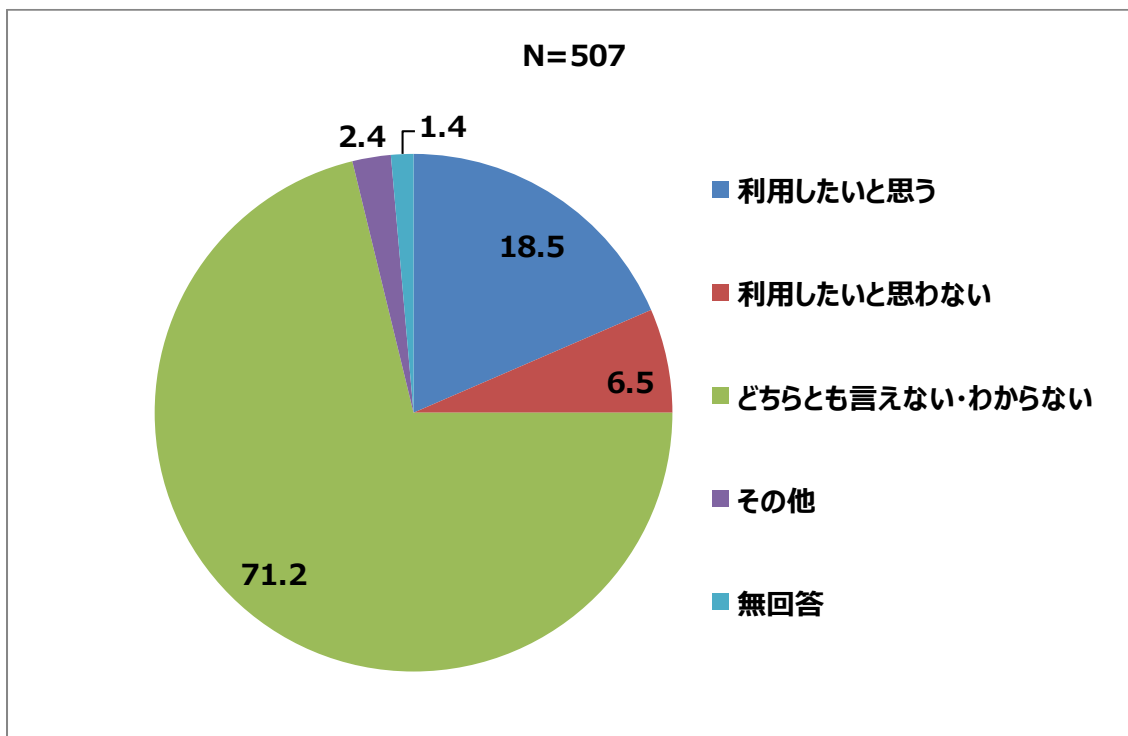


## ■ データリポジトリ 利用意向

問20. J-STAGEでは、論文記事とその根拠となるデータをリンクさせて公開するデータリポジトリを開設する予定です。貴誌でもデータリポジトリを利用したいと思いますか。（1つ選択）

- データリポジトリの利用意向は、71.2%が「どちらとも言えない・わからない」と回答。利用意向者は全体の18.5%であった。

単位：%



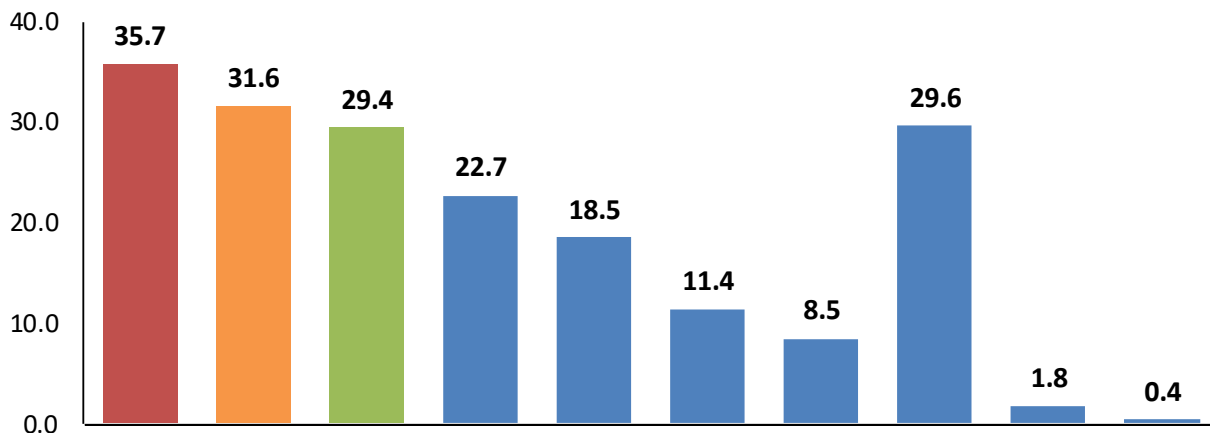


# ■ 役に立ちそうなサービス

問21. J-STAGEでは新たなサービスの提供を検討しています。貴誌にとって役に立ちそうなものを選択してください。（複数選択可）

- 役に立ちそうなサービスは、「Wordファイル等から全文XMLを作成するツール」が35.7%と最も高く、次いで「ジャーナルの利用状況を把握できるダッシュボード」の31.6%、「書誌事項(タイトル・抄録等)の機械翻訳」の29.4%の順が続いている。

N=507



n=30以上で  
■ 項目内で1位  
■ 項目内で2位  
■ 項目内で3位

N	を等W	ダ	状	メ	ル	書	(	で	研	ル	(	優	ト	O	公	プ	な	特	そ	無
	作	カ	ッ	機	書	誌	デ	可	究	バ	信	れ	ク	R	開	レ	い	に	他	回
	成	ラ	シ	械	誌	事	ー	能	デ	ー	た	た	ン	C	す	プ	な	な	そ	答
	す	全	ユ	翻	項	項	タ	サ	タ	タ	文	文	を	I	る	リ	い	し	の	
	る	文	ボ	録	(	(	ジ	ー	タ	ル	を	を	用	D	サ	ン	わ	わ		
	ツ	X	ド	)	タ	タ	ャ	サ	タ	を	纏	認	た	ト	ト	か	か			
	ー	A	キ	の	イ	イ	ル	文	文	め	め	証	連	バ	を	ら	ら			
	ル	L	ル	用	ト	ナ	)	発	信	ナ	て	携	を							
全体	507	35.7	31.6	29.4	22.7	18.5	11.4	8.5	29.6	1.8	0.4									

※全体値を降順に並び替え  
 ※単位：%